

～下記の研究を行います～

「当院における難治性喘息に対する生物学的製剤導入患者の
全身性ステロイドの投与量変化に関する実態調査」

【研究の主宰】 独立行政法人 国立病院機構 南京都病院 薬剤部

【研究代表者】 大倉あすか

【研究の目的】 生物学的製剤の導入により全身性ステロイドの減量や中止、ポリファーマシーの解消について考察すること。

【研究の期間】 倫理委員会承認～2026 年 12 月 31 日

【研究の方法】

●対象となる患者

2023 年 1 月 1 日～2025 年 12 月 31 日の間に生物学的製剤を導入された難治性喘息患者

●個人情報の取り扱い：

情報収集は病院内にある電子カルテから行い、診療録から得られた結果は個人が特定できないように個人を特定できる情報は匿名化します。収集したデータはパスワード付き USB に保存し、鍵のかかる場所に保管します。

●研究組織

研究を実施する機関及び研究責任者

独立行政法人 国立病院機構 南京都病院 薬剤師 大倉あすか

【研究の資金源】

特になし。

【利益相反】

特になし。

臨床研究における利益相反とは、「主に経済的な利害関係によって公正かつ適切な判断が歪められてしまうこと、または、歪められているのではないかと疑われかねない事態」のことを指します。具体的には、製薬企業や医療機器メーカーから研究者へ提供される謝金や研究費、株式、サービス、知的所有権等がこれにあたります。

なお、本研究の利益相反については倫理審査委員会で審査され、適切に管理されています。

◎本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問合せ下さい。

◎ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出ください。

◎情報等が当該研究に用いられることについて患者さん若しくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることは有りません。

〈連絡先〉

独立行政法人国立病院機構南京都病院

〒610-0113 京都府城陽市中芦原 11 番地

TEL 0774 (52) 0065

研究責任者 薬剤部 大倉あすか